

平成26年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法	
[要約] ミニトマト品種「ロッソナポリタン」を用いた疎植で粗放的な露地栽培(通称:ソバージュ栽培)では、「直立ネット誘引」に改良することで、単位面積当たりの良果収量が高く営利性に優れる。				
キーワード	赤系	へた無し	露地栽培	技術部野菜花き研究室

1 背景とねらい

本県の中山間地域では中小規模の農地が点在し、施設化が困難な圃場も多い。このため、集約的かつ収益性の高い品目の導入が必要であり、施設と露地圃場を複合的に活用した営農モデルにより高収益を実現する必要がある。

一方、近年全国的に導入が広がっているソバージュ栽培は、株間1m程度、主枝3本をネットへ等間隔で配置し、以降の側枝を放任とする疎植で粗放的なトマトの露地栽培法である。そこで、中山間地域の中小規模農地を有効活用するため、この栽培法についてミニトマトにおける栽培適応性の検討と誘引法を開発する。

2 成果の内容

- (1) ソバージュ栽培での誘引方法は、アーチネット誘引(慣行法)よりも新たに開発した「直立ネット誘引(改良法)」とすることで増収する(表1、2)。改良法では、ソバージュ栽培の仕立法に準じるが、カラー鋼管と菱目ネットを用いて株を垂直に誘引して栽培する。
- (2) 一般的な仕立法である「主枝1本側枝摘心仕立」(栽植密度2,222株/10a)に対し、ソバージュ栽培の「主枝3本側枝放任仕立」では、株あたり、10aあたり良果収量が共に多くなる(表3、図)。
- (3) 2014年の結果に基づき経営試算すると、改良法の直立ネット誘引の方が所得が高く、ミニトマトの露地疎植栽培法として営利性に優れる(表4)。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 作型は5月下旬定植。10a当たり窒素施肥量を2013年は15kg、2014年は20kgとして得られた結果である。
- (2) 誘引支柱は差し込み深さが浅くなる場合、強度不足で強風や株重により倒壊するおそれがあるため、補強を増やす必要がある。
- (3) 供試品種の「ロッソナポリタン」は現在主流の赤系品種と異なり、果実がプラム形で、収穫果はへた無しとなるが市場性は認められている。
- (4) 供試品種は青枯病、葉かび病、斑点病に罹病性であるため、必要に応じて対策を講じる必要がある。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯または対象者等 県内全域
- (2) 期待する活用効果 中小規模農地の有効活用と所得向上につながる。

5 当該事項に係る試験研究課題

(H25-12)食料生産地域再生のための先端技術展開事業「ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究」(H25,26国庫委託)

6 研究担当者

藤尾 拓也

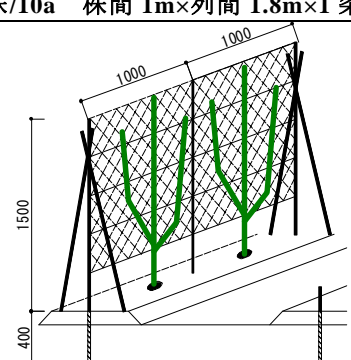
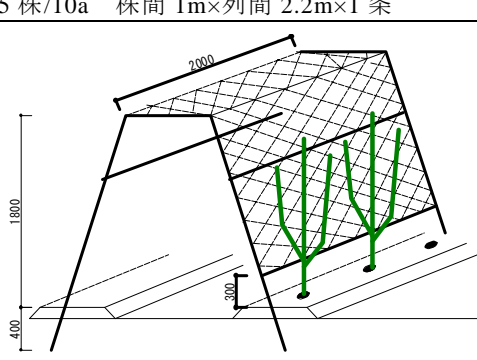
7 参考資料・文献

- (1) ソバージュ栽培マニュアル(パ・イオエアロサイエンス(株)、<http://www.sicilian-rouge.com>)
- (2) ミニトマトの露地栽培におけるソバージュ栽培と1本仕立て栽培の収量特性の差異、藤尾ら、2014.園学研。(別)2:418.
- (3) アーチ放任仕立て栽培(通称:ソバージュ栽培)が露地夏秋どりミニトマトの収量および品質に及ぼす影響、北條ら、2014.園学研。(別)1:328.
- (4) アーチ放任仕立て栽培(通称:ソバージュ栽培)が露地夏秋どりミニトマトの作業性に及ぼす影響、北條ら、2014.園学研。(別)2:419.

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 ソバージュ栽培における誘引方法および栽植密度

誘引方法	改良法：直立ネット誘引	慣行法：アーチネット誘引
仕立法	主枝3本側枝放任	主枝3本側枝放任
栽植密度	556株/10a 株間1m×列間1.8m×1条	455株/10a 株間1m×列間2.2m×1条

模式図		
-----	---	--

耕種概要 定植日：2013/5/24, 2014/5/20 調査終了日：2013/10/30, 2014/11/4

表2 ソバージュ栽培における誘引方法の違いと果実収量（2013~2014年）

誘引方法	2013年 果実収量(kg)				2014年 果実収量(kg)			
	株あたり		10aあたり		株あたり		10aあたり	
	良果	総収量	良果	総収量	良果	総収量	良果	総収量
改良法：直立ネット	6.4	7.9	3,551	4,391	6.2	8.5	3,460	4,719
慣行法：アーチネット	4.6	5.7	2,072	2,571	6.5	8.8	2,949	3,986

※品種：ロソナポリタン (n=3)

表3 仕立て法の違いと収量(2013, 2014年平均)

仕立て法	株あたり収量(kg)		10aあたり収量(kg)	
	良果	総収量	良果	総収量
主枝3本側枝放任(改良法)	6.3	8.2	3,505	4,555
主枝1本側枝摘心(参考)	1.0	1.5	2,229	3,208

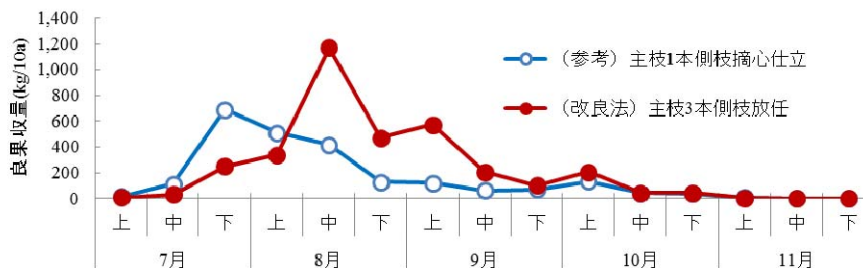


図 仕立法の違いと旬別良果収量(2014年)

表4 10aあたり経営試算(2014年基準、単位：円)

	改良法	慣行法	(参考)主枝1本側枝摘心	備考
A 粗収益	1,400,000	1,200,000	1,000,000	
単位収量	3,500	3,000	2,500	
kg単価	400	400	400	200gパック詰
B 費用	659,811	674,455	721,415	
種苗費	41,280	33,759	164,506	
肥料農薬費	75,088	75,088	75,088	
生産資材費	92,513	167,678	136,891	支柱
諸経費	13,252	13,252	13,252	動力光熱費、租税公課
建物農機具車費	66,678	66,678	66,678	
販売費用	371,000	318,000	265,000	
C 所得 (A - B)	740,189	525,545	278,585	
所得率 (C / A)	53%	44%	28%	